

# 木版画大賞の軌跡Ⅱ

## 出品作家

佐藤克教

山本光留

竹崎勝代

牧野浩紀

原和雄

時田也寸子

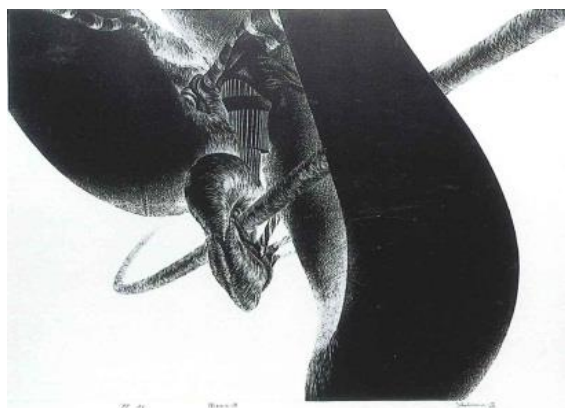
安井丸男

王雁

岩淵欣治

渡辺秀樹

瀬尾孝子



図版

上：佐藤克教《困われた1日》 1999(平成11)年 第5回大賞

左下：竹崎勝代《明るく晴れわたった日に》 2000(平成12)年 第6回大賞

右下：王雁《秋之実》 2001(平成13)年 第7回大賞

2018. 5.30 (水) ~ 7.1 (日)

会場：鹿沼市立川上澄生美術館 1階展示ホール

入場料：無料

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日

同時開催：「川上澄生と旅に出よう！～とちぎの木版画をたどる～」(4.1～7.1)

鹿沼市立川上澄生美術館

〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町 287-14 TEL. 0289-62-8272  
<http://kawakamisumio-bijutsukan.jp/>

# 木版画大賞の軌跡Ⅱ

鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞は1995(平成7)年、木版画家・川上澄生の生誕100年を記念して創設された、公立美術館としては全国初の木版画を対象とした公募展です。木版画において新たな境地を開いた川上澄生の精神を受け継ぎ、「次代を担う木版画作家を見出す」という目的のもと開催しています。

公募展名の冒頭に「鹿沼市」と入れることで、鹿沼市と木版画を結びつけ、「木のまち鹿沼」のイメージを全国に発信しています。2017(平成29)年に第23回を迎え、歴代の受賞作家はその後も多方面で活躍し、日本の版画界において欠かせない存在となっています。受賞作品のうち、買い上げ賞の作品は当館に収蔵され、現在87点からなる現代木版画の最先端をいくコレクションを構築しています。

本展は、今や版画家の登竜門として定着している木版画大賞の軌跡をたどり、歴代の買い上げ賞の作品を紹介するものです。今回は第5回から第7回までの12点を紹介します。24年の時を経て、木版画大賞の意義を多くの方々に知っていただく機会となれば幸いです。

## 出品作品リスト

No.	作品名	作者名	制作年	技法・形状	寸法	備考
1	囲われた1日	佐藤克教	1999(平成11)年	木版/ラシャ紙	74.0×100.0	第5回木版画大賞大賞
2	塀の外	山本光留	1999(平成11)年	木版凹凸/機械鳥の子	80.0×110.0	第5回木版画大賞準大賞
3	en toute quiétude 心静かに	竹崎勝代	1999(平成11)年	木版/鳥の子和紙	69.0×89.0	第5回木版画大賞準大賞
4	winging anchor	牧野浩紀	1999(平成11)年	水性刷/レオバルギー	78.5×98.0	第5回木版画大賞準大賞
5	明るく晴れわたった日に	竹崎勝代	2000(平成12)年	木版/鳥の子和紙	97.0×97.0	第6回木版画大賞大賞
6	シャーウイダンス	原和雄	2000(平成12)年	木版、墨拓、裏手彩色/和紙	110.0×100.0	第6回木版画大賞準大賞
7	水音	時田也寸子	2000(平成12)年	水性木版/鳥の子紙	91.0×116.0	第6回木版画大賞準大賞
8	埋もれたかたち	安井丸男	2000(平成12)年	木版、コラグラフ/BFK	82.0×109.0	第6回木版画大賞準大賞
9	秋之実	ワン 王 雁	2001(平成13)年	木版、コラグラフ/BFK	115.0×84.0	第7回木版画大賞大賞
10	東へ西へ	岩淵欣治	2001(平成13)年	木版画、手彩色/白石和紙	94.9×117.4	第7回木版画大賞準大賞
11	木韻G	渡辺秀樹	2001(平成13)年	木版拓本刷(墨)、裏手淡彩色 /美濃和紙	96.0×70.0	第7回木版画大賞準大賞
12	-形體-No.65	瀬尾孝子	2001(平成13)年	木版画(両面刷)/ 鳥の子和紙	108.0×79.0	第7回木版画大賞準大賞